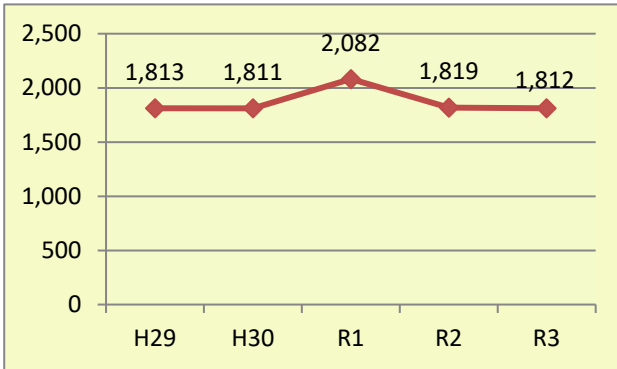


インターネット利用に起因する犯罪被害等の実態(令和3年中)

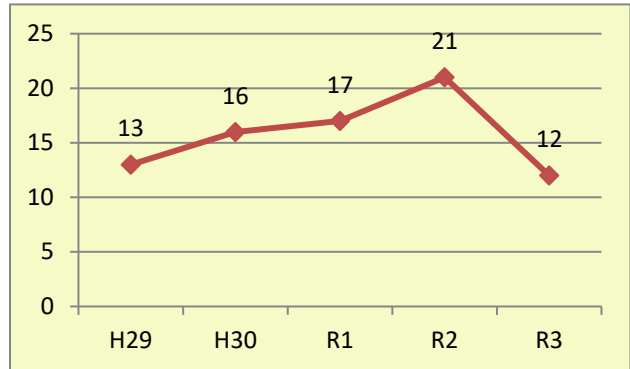
SNSに起因する事犯の被害状況

① 被害児童数の推移

(全国)



(県内)

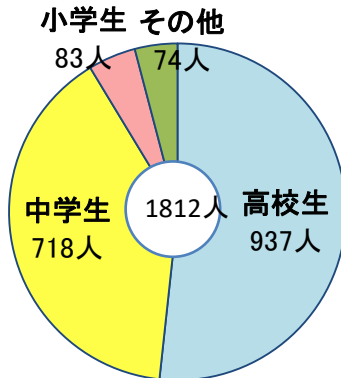


チェックポイント!!

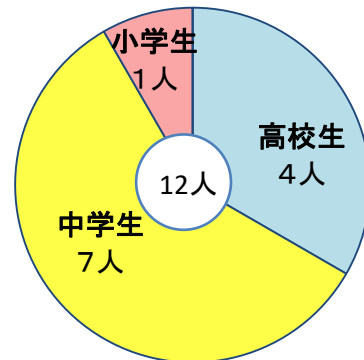
全国の被害児童数は前年と同程度で推移していますが、県内の被害児童数は**減少傾向**にあります。なお、この人数は何らかのきっかけで表面化し事件となった被害児童の数であり、実際にはもっと多くの被害児童が潜在しているものと考えられます。

② 学職別の被害児童数(令和3年)

(全国)



(県内)

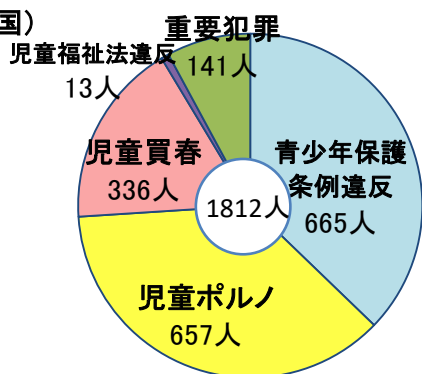


チェックポイント!!

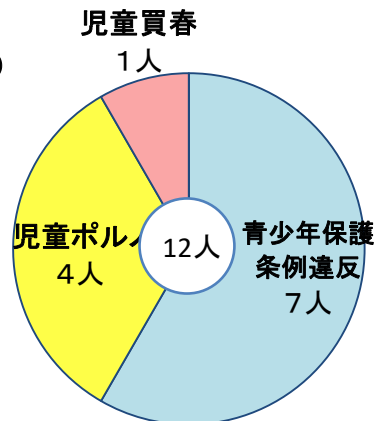
全国、県内ともに約9割を**中・高校生**が占めています。

③ 罪種別の被害児童数(令和3年)

(全国)



(県内)



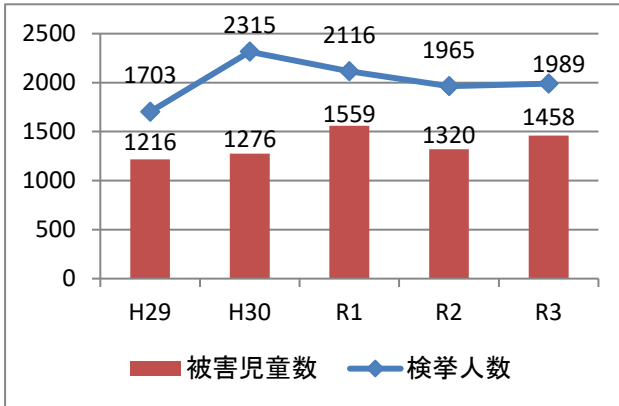
チェックポイント!!

※「重要犯罪」は殺人・強盗・強制性交等・略取誘拐など。

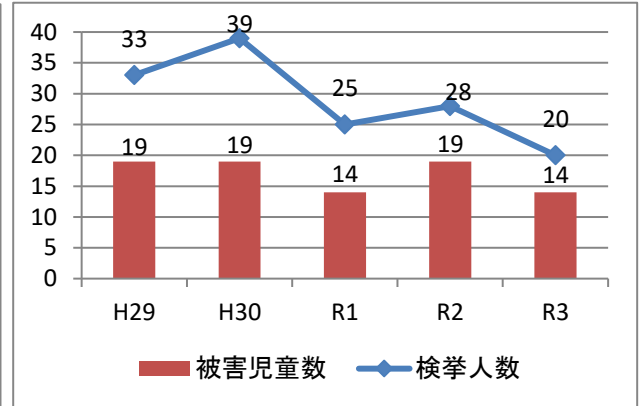
全国、県内ともに**青少年保護条例違反**の被害に遭っている児童の割合が一番高く、次いで**児童ポルノ**の被害に遭っています。全国で141人が**重要犯罪等の被害**に遭っています。

児童ポルノ事件の状況

① 検挙人数・被害児童数の推移 (全国)



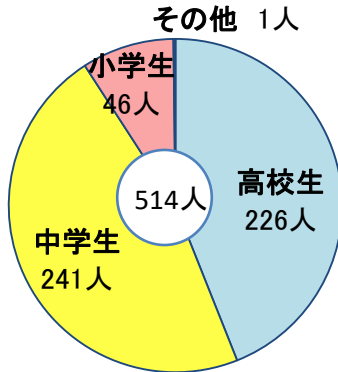
(県内)



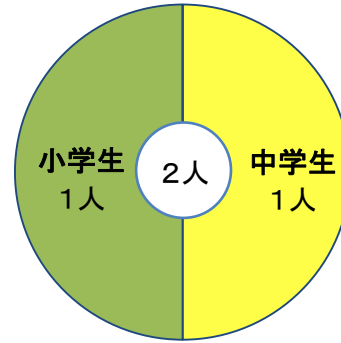
チェックポイント!!

全国の被害児童数・検挙人員は前年から増加しましたが、県内はいずれも**減少**しています。

② 自撮りの被害児童数(令和3年) (全国)



(県内)

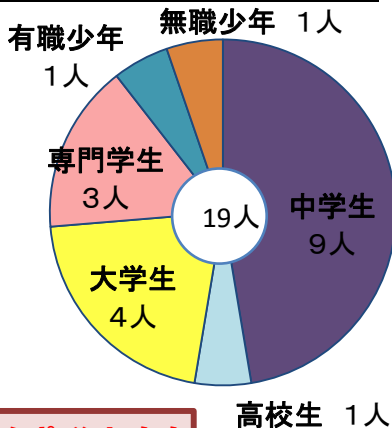


チェックポイント!!

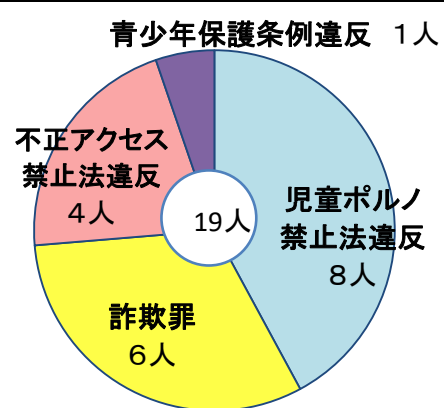
全国の被害児童の約半数を中学生が占め、高校生を含めると**約9割**になります。
また、県内では中学生と小学生それぞれ1人ずつ被害に遭っています。

インターネットを利用した少年非行の現状(県内)

① 学職別の検挙人員(令和3年)



② 罪種別の検挙人員(令和3年)



チェックポイント!!

全体の半数近くを**中学生**が占めています。

児童ポルノ禁止法違反で最も多く検挙されており、次いで**詐欺罪**で多く検挙されています。